

Web を検索



三

トップ

スポーツ

プロ野球

MLB

サッカー

ゴ.

個人用設定



AERA DIGITAL

フォローする

153.9K フォロワー



## 世界連覇のドジャースを強くする大谷の影響力 他球団のスター選手が「大谷翔平と一緒にプレーしたい」

今川秀悟 によるストーリー・2 時間・ 読み終わるまで 4 分



世界連覇のドジャースを強くする大谷の影響力 他球団のスター選手が「大谷翔平と一緒にプレーしたい」

ドジャースがブルージェイズを4勝3敗で下したワールドシリーズは、球史に残る熱戦となった。この戦いで伝説となったのが、4勝のうち3勝をマークして、日本人選手で2009年の松井秀喜（ヤンキース）以来、16年ぶり2人目のワールドシリーズMVPに輝いた山本由伸だ。

第2戦で1失点完投勝利をあげると、延長18回、6時間39分に及ぶ激闘となった第3戦ではリリーフ投手がいなくなった状況を見て首脳陣に志願し、救援登板に向けてブルペンで肩を作った。18回裏にチームがサヨナラ勝ちしなかったら19回表のマウンドに立ったはずだ。2勝3敗と崖っぷちに追い込まれて適地に乗り込んだ第6戦では、6回1失点の力投で2勝目を挙げ、3勝3敗のタイに持ち込む。だが、山本の劇的なドラマはまだ終わらない。



【公式】NTT西  
日本／フレッ...  
NTT西日本

最終第7戦、同点で迎えた9回裏1死一、二塁のピンチで前日の先発だった山本がまさかのリリーフ登板。1点でも失えばサヨナラ負けとなる状況で1死満塁のピンチとなったが、二ゴロと中飛で無失点に切り抜ける。延長10回裏を三者凡退に抑えると、11回表にチームが勝ち越し。1点リードの延長11回裏は1死一、三塁のピンチを迎えたが、最後の打者を遊ゴロ併殺打に抑えた。球団史上初のワールドシリーズ連覇となり、山本はマウンド上で両手を突き上げて喜びを爆発させた。

衝撃の投球にチームメートは賛辞の言葉を惜しまない。第7戦で先発登板した大谷翔平は「由伸が世界一の投手だとみんなが思っていると思います」と絶賛。中心選手のフレディ・フリーマンは「言葉がない。本当に信じられない。ヨシノブがこのワールドシリーズを勝利に導いた。何と言ったらいいのか、あいつは昨日投げたんだ」と興奮した表情で称えた。

ワールドシリーズでは大谷の活躍も忘れられない。延長18回となった第3戦では、初回到右翼線二塁打、3回到右越えソロ、5回到左中間タイムリー二塁打、7回到この日2本目で同点となるソロ本塁打を左中間席へ運んだ。その後、4打席連続で申告敬遠され、延長17回の第9打席でも四球を選び、ポストシーズン史上最多の1試合9出塁をマークした。さすがに疲れの色が隠せず、投手としては先発した2試合とも打ちこまれたが、ワールドシリーズ連覇に不可欠な存在だった。



世界連覇のドジャースを強くする大谷の影響力 他球団のスター選手が「大谷翔平と一緒にプレーしたい」

## ■「大谷がいるからドジャースに入団した」

大谷が移籍した昨年からドジャースは2年連続ワールドチャンピオンに輝いたが、これは二刀流のスーパースターが戦力としてチームの大きなプラスになっているからだけではない。ドジャースの中心選手たちが移籍先を決断する際に、大谷の存在が影響していることも大きいのだ。

山本が23年オフにオリックスからメジャー挑戦を表明した際、ヤンキースやメッツなどの名門球団が獲得に乗り出したが、ドジャースを選んだ。12年総額3億2500万ドル（約455億円）の投手史上最高額で契約した右腕は入団会見で「大谷さんは日本人選手としてだけでなく、メジャーリーグの中でもトップ選手だと思っています。大谷さんがドジャースを選んだというのは決断の1つの理由になりました」と明かしている。また、昨オフにサイ・ヤング賞を2度獲得した左腕、ブレーク・スネルがジャイアンツから移籍した際も、入団会見で大谷について触れ、「最高レベルの選手になりたいと思った時に、彼のような選手と一緒にプレーしたいと誰しもが思うでしょう。ドジャースに入団を決断するにあたって（大谷の存在が）大きな役割を果たしたことは間違いない」と語っていた。



### 【比較】eラーニングシステム1...

SaaS比較サイト - BOXIL

メジャーリーガーの代理人は「大谷はメジャーで特別な存在です。今年のサイ・ヤング賞の有力候補に挙げられているポール・スキーンズ(パイレーツ)、超人的な身体能力で昨年盗塁王に輝いたエリー・デラクルーズ(レッズ)は、大谷に憧れの気持ちを抱いていることを公にしています。実際に大谷とプレーしたい他球団のスター選手は多い。戦力補強においてこの状況がプラスに働くことは間違いありません」と力説する。

今オフのFA市場では大物選手たちの動向が注目されている。外野を守る左の強打者のカイル・タッカー(カブス)、ナ・リーグの本塁打王と打点王に輝いたカイル・シュワバー(フィリーズ)、強打の三塁手アレックス・ブレグマン(レッドソックス)、ワールドシリーズ7戦目で大谷から先制3ランを放ったボー・ビシェット(ブルージェイズ)、左腕で安定感抜群のフランバー・バルデス(アストロズ)、守護神のエドウィン・ディアス(メッツ)、阪神でも活躍したクローザーのロベルト・スアレス(パドレス)らがFAとなっている。

「ドジャースの補強ポイントは外野手とリリーバーです。タッカーは複数球団の争奪戦になることが予想されますが、間違いなく参戦するでしょう。救援陣整備に向けてディアス、スアレスの両獲りに動く可能性も十分にある。スアレスは6月に大谷に死球を与えて退場となりましたが、オールスターで大谷と再会したときに和解しています。穏やかな性格で、阪神でプレーしていた時も日本人選手にリスペクトの気持ちを持っていました。大谷に尊敬の念を持っているでしょうし、ドジャースに加入して共闘が実現するか注目されます」(スポーツ紙デスク)

大谷の存在が、他球団にいるスター選手たちをひきつけ、ドジャースの戦力がますます強化されていく。大谷は優勝パレード中のインタビューで、2度目のワールドシリーズ制覇をどう思うかと問われ、「もう3回目に向けて切り替えているので」と答えていた。大谷がいる限り、ドジャースがワールドチャンピオンを制覇し続けることも、夢物語ではないかもしれない。

(ライター・今川秀悟)

・【写真】ドジャースがリーグ優勝を決めたマウンドで捕手と抱き合う佐々木朗希

・ドジャース山本由伸はなぜドラフト4位だった？ 他球団スカウトは「今の姿を想像できなかった」と反省の弁